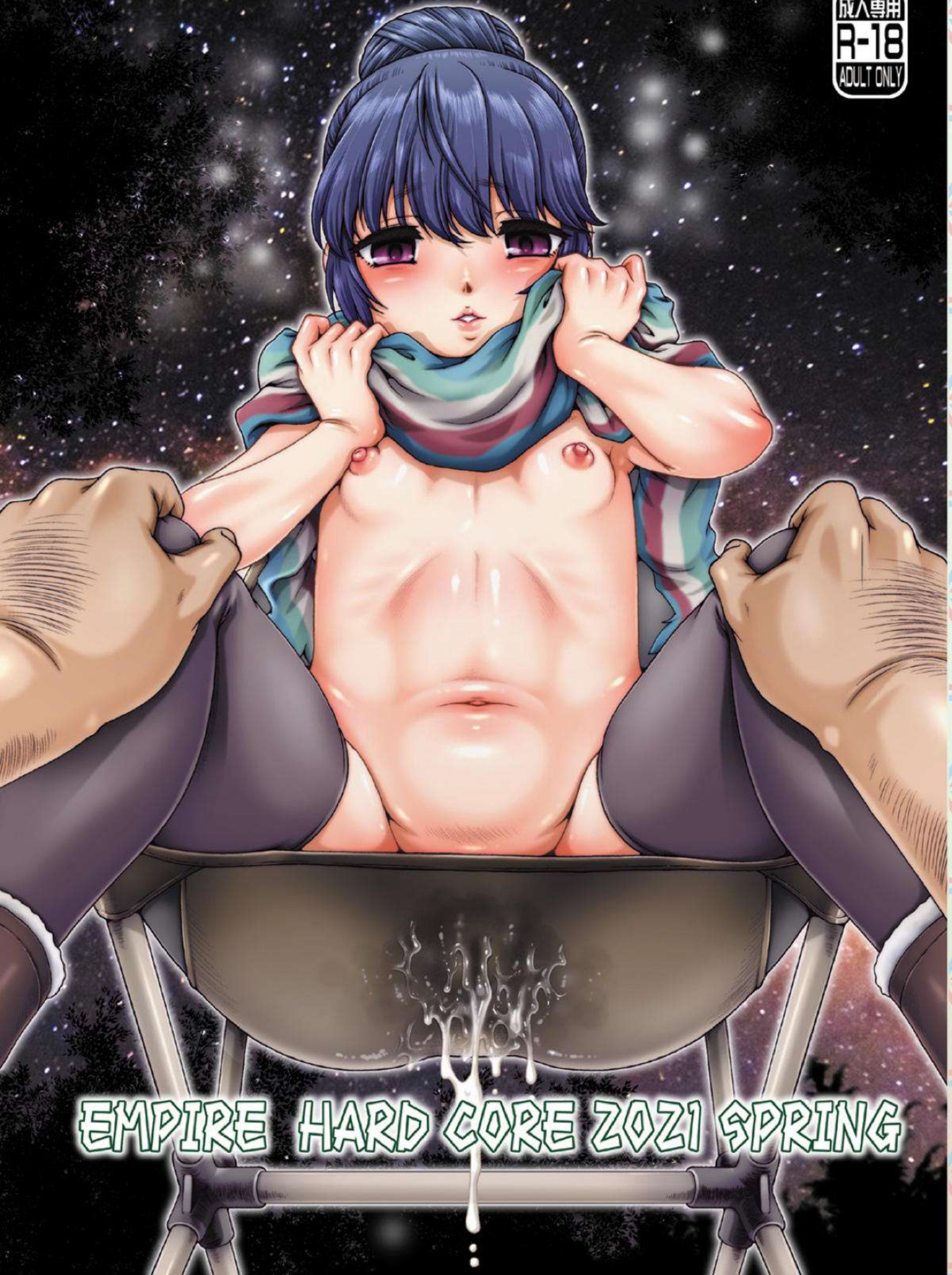
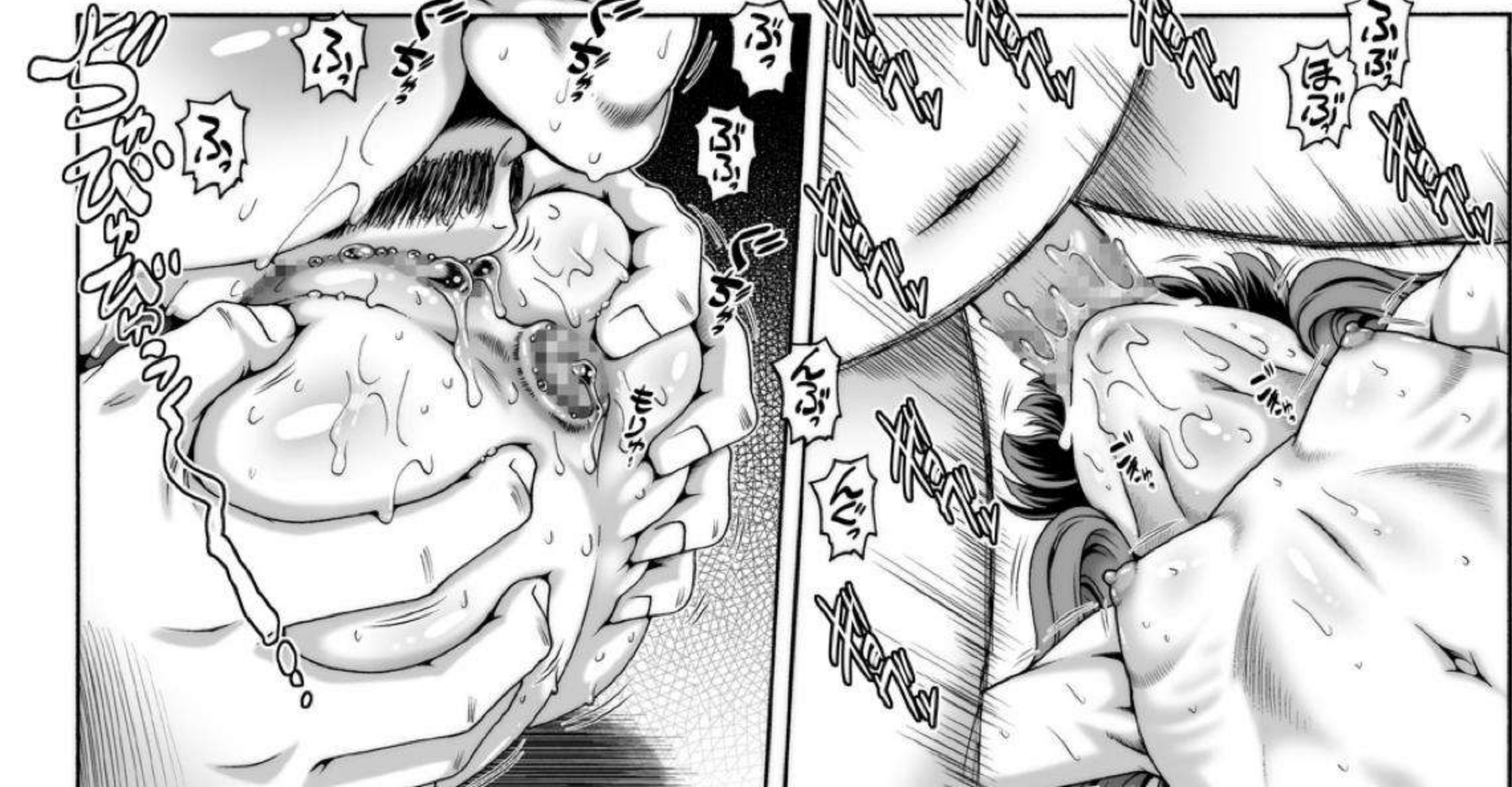
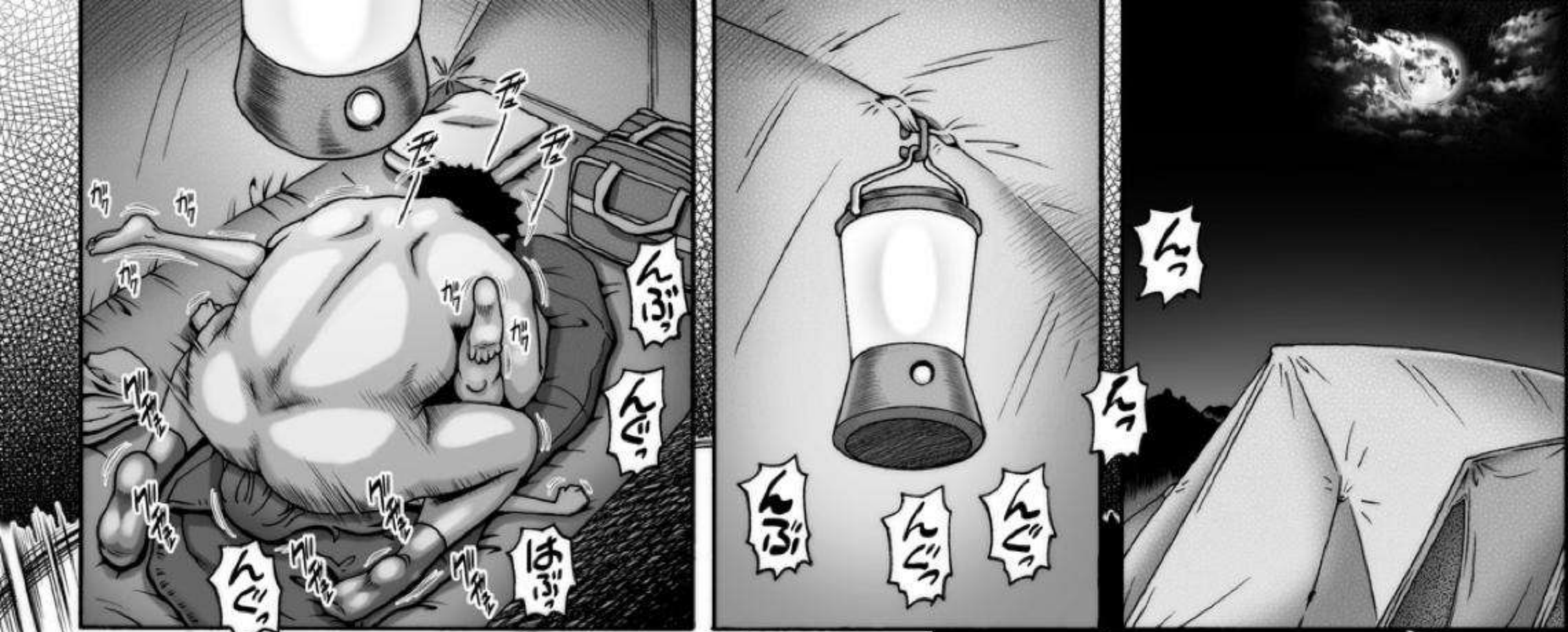


成人専用
R-18
ADULT ONLY



EMPIRE HARD CORE ZOZI SPRING







我を忘れて
しまったよ

ついつい夢中に
なっちゃって...

いやあ
ごめんね

ほんっっっ
っ

はっ
はっ



お詫びに
ぬいばい

気持ちよくて
あげるからね

大丈夫
だったかい?

リンちゃん♡

でも...
それって



はっ
はっ

オジさんも
気持ちよく
なるって事
だけだね♡

お...お...お...

はっ
はっ



はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ

はっ
はっ



そりゃ...
つと♡

あぁ...
気持ちいい
なぁ...

リンちゃんのお腹の中

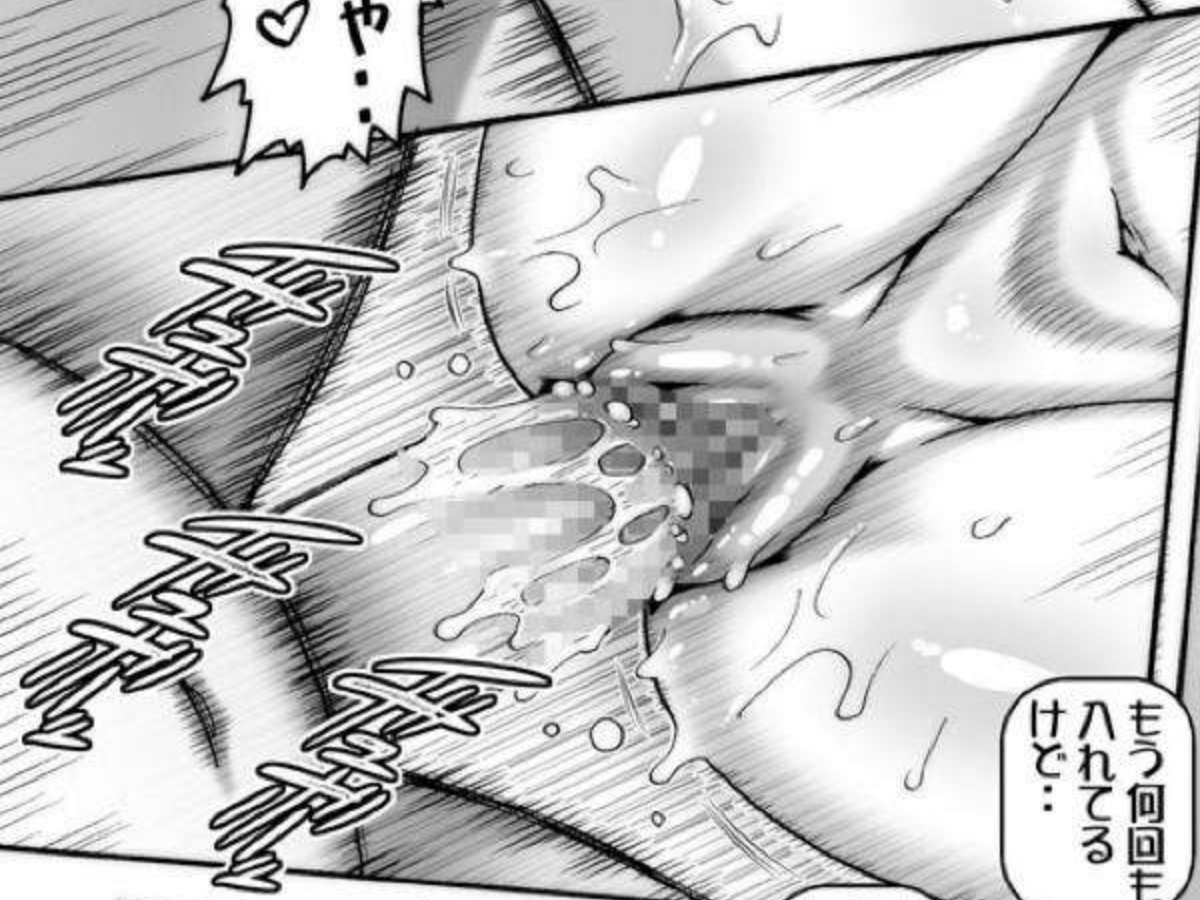
リンちゃんも
オジさんの
チンポ...

気持ち
良いかい?

もう何回も
入れてる
けど...

入れる
度に

気持ち良
くなって
いく
ねぇ...



チンポが
気色いい
なぁ♡

キュウキュウ
締め付けて
きて





産まれてこの方：女性と縁の無かったボクが：

リンちゃんとめぐり会えたのは：

あれええ…

偶然：だった：



どうか
したん
ですか？

ん？



な・何が
悪いんだ？

な・なんで
火が付かない
んだ？

ネット動画で
見た通りやって
るのに…



突然：
若く可愛い女の子に
話しかけられて
動揺の余り声さえ
発する事が出来な
かった

これじゃ
着火剤の無駄
になりますよ

いきなり
こんな大きな
マキから入れたら
ダメですよ

そえは：
まるで天使の
様だった

火が付かない
んですね

ああ…

仕方ない…
この歳になるまで
若い女の子は
おろか…

こうして…
最初は細い物から
少量つつ入れて…

同年代の女性
とも会話した事
無かったのだ…

えあ…

ああの…

ましてや…
こんな可愛く
可憐な女の子と
なんて…

火が大きくなって
安定したら…
少しづつ大きな
マキを…





…いえ…



あ、有難う御座います
助かりました



おおッ
付いたあッ



彼はポクにとつて
キャンプの師匠と
言うべき存在
だった

まさに…

キャンプ素人だった
ポクは
彼から色々と
教わる事で
キャンプを楽しく
過すける様になって
行った

最初はぎょち
なかつた会話も
回を重ねる毎に
自然体となり…



それから
行く先々の
キャンプ場で

少しづつ
彼と顔を
会わす事が
多くなり…



どう
しましたッ
大丈夫…

リリン
さんッ

これは
ただ事じゃ
ないと感じた
ポクは…

はあ
はあ
んはあ



むッ

彼女のテント
近くを通り掛った
時：
通常とは違う
息づかいが聞こえ
てきて…



その時
までは…

それは：
夜もふけて
寝る前のトイレを
済ませた帰り…



ふう…



あせ...
あ... これ...
は...
あ...の...



彼女 の ただ事
ではない 姿を
目に した:

あ...
ああ...



その後
何が となって
しまった のか
み 見 ない!

い...
ああ...

はあ



今でも
記憶に
残 っ て ない
が:

はあ

はあ

はあ

気が付いた
時は

はあ



初めて 嗅ぐ
雌の 臭いで

一瞬:
我に 返る 事
も 有った が

彼女の
穴を
激しく 突き
まく っ て いた

はあ

はあ

あ...

あ...

あ...

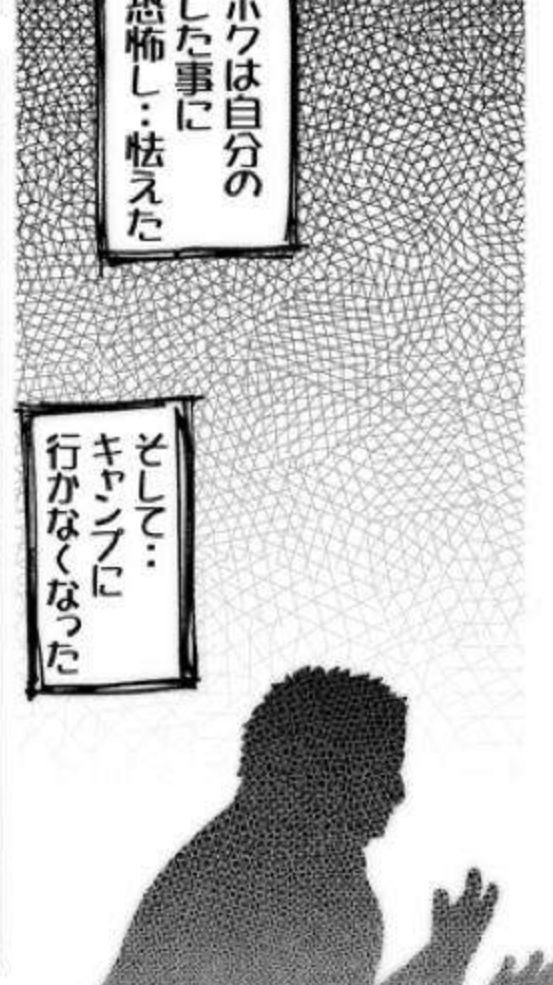


ボウのチンポは
彼女の 性器の
中に 居て:

はあ...

はあ...

あ...
あ...
あ...
あ...
あ...



これでよしと

何回かキャンプして気持ち落ち着いてきた頃

施設も相木な人も余り来ない所を選んでキャンプをやった

名の知れた所は彼社と会う恐れがあったので、避けて

だが：暫らくしてボクはまたキャンプを始めた

翌朝：彼女はキャンプ場から消えていた

ボクは自分のした事に恐怖し：怯えた

そして：キャンプに行かなくなった

んはあッ

んあッ

あッ

あひッ

ボクは彼女に射精した

ボクは彼女に射精し続けた

その後も体力の続く限り：

んひッ

ひびッ

は...ああ...

見つけた！

ん？

やつ...



あの日
以来…

一人でやって
ても…
何か物足り
なくて…



よかった…

もう…
会えないかと
焦っちゃった…



す…す…
ず…ず…

探…

だ…



そ…

あ…



迷惑かも
…けれど

も…もう一度…
お願い出来ない
ですか…?

し…白い…
え…液も…

な…中に…
出して…欲しい
…かな?



ボクの中の
何が:
吹っ飛んだ

ボクは何の
遠慮も無く
本能のままに

微かに香る
オシンの奥の
ある彼女の性器
を..

長い時間を
掛けて:
しゃぶり
まくった:

そ..

はぶっ
はぶっ



失禁



その日は
夜が明ける
まで：

少女のホトの
中に獣の様に
突きまくり
出しまくった

んあ、

んあ、

あ、

あ、



初めて見る
女性の：



少女の放尿を
目のあたりに
して：





性交…と
言うより…

あ…
い…

い…

交尾を満喫
しまくった

ほあぁぁぁ

んあぁぁ

んあぁぁ



んんんんん

こうなるや…
キアンの記録
目的は…

ポウラの中から
消えていた…

も…

あ…
あほ…



…とは言っても
彼と会えるのは
週末や休みの時
だけ

それ以外の日でも
彼女の事を忘れ
ない様に…

あぁぁぁ

いいいよお
リンちゃん

と…
可愛いよ

ポウラの楽しい
キアンの記録を
撮ることにした

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



はははは

んはあはあ

あーいあー

スッ

撮影には
彼甘も賛成
してくれた

普段は気が
引けて
やれなかった
事を:

リンちゃんか
可愛良く逝く
所を

余す所無く
撮ってあげる
からな

スッ

逝くの?

ね 逝くんだ

いいよ
逝っちゃって

てか:
むしろ積極的
だったと思う
.....多分

ボクが入れて
あげられない
時の分も:

この機会に
色々試して

いっぱい記録に
残した

いっぱい
逝くんだよ

いっ

びしょびしょびしょびしょ

びしょびしょびしょびしょ



いつぱい記録した後は：

素晴らしいよリンちゃん

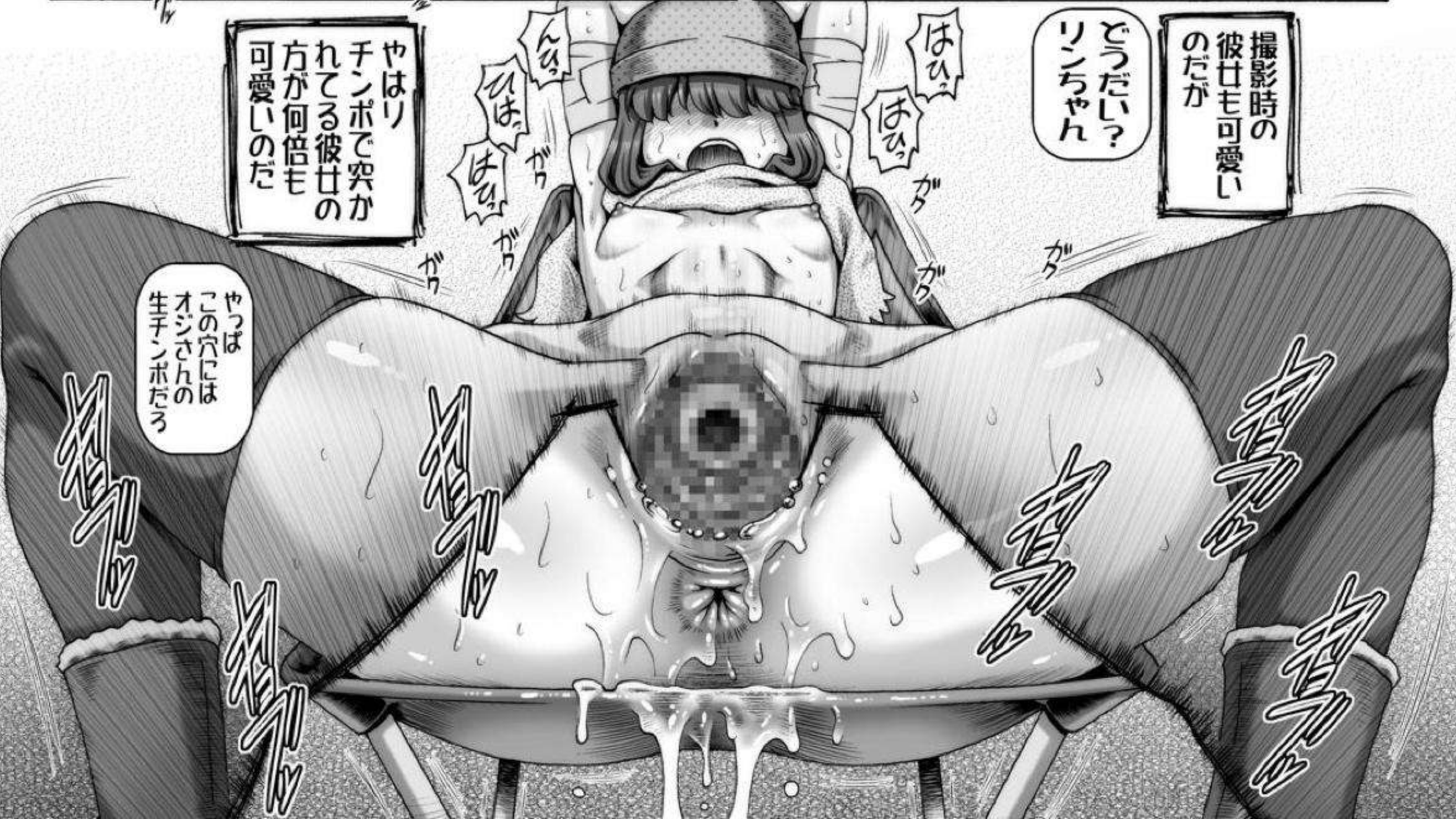
オシッコしながら逝くところ可愛く撮れたからね



いつぱいちんポ入れてあげるのが最近の定番になってきた

次はリンちゃんの大好きなおシッコの生チンポで逝かせてあげるからね

それじゃ：



撮影時の彼れも可愛いのだが

どうだい？リンちゃん

やはりチンポで突かれてる彼れの方が何倍も可愛いのだ

やつぱこの穴にはおシッコの生チンポだろ



き・今日も
いつもの様
に……いや

いつもの倍
出しちゃう
からね

あぁ
しい
しい

ボクの精力が
増したのでは
なく

いい……

い？

撮影を始めて
からは……
不思議と精子の
出も頗る良く
なっていた



彼が積極的に
ボクの射精を
アシストして
くれるのも
あるだろう

がんばって
十倍出すぞお
おおーッ



健気
なんだ……

な……なんて……



ぬほあ？！



リリン……
ちゃん？



ぷおほおお



んほ

おっ

おっ

こうして
ボクらは...

互いに欲求を
満足させたい

お、お、お

日常では体験
できない！

楽しんだ

ズグズグ

んほおっ♡

おっ

それぞれの
キャンプを！

いん

ん

ん

ん

ズグズグ
ズグズグ
ズグズグ

ズグズグ
ズグズグ
ズグズグ



「このまま…
もう一回良く
してやろうね」

「こうして…
ボクと彼女は
キャンライフを
満喫していた」

「それは
今も…」

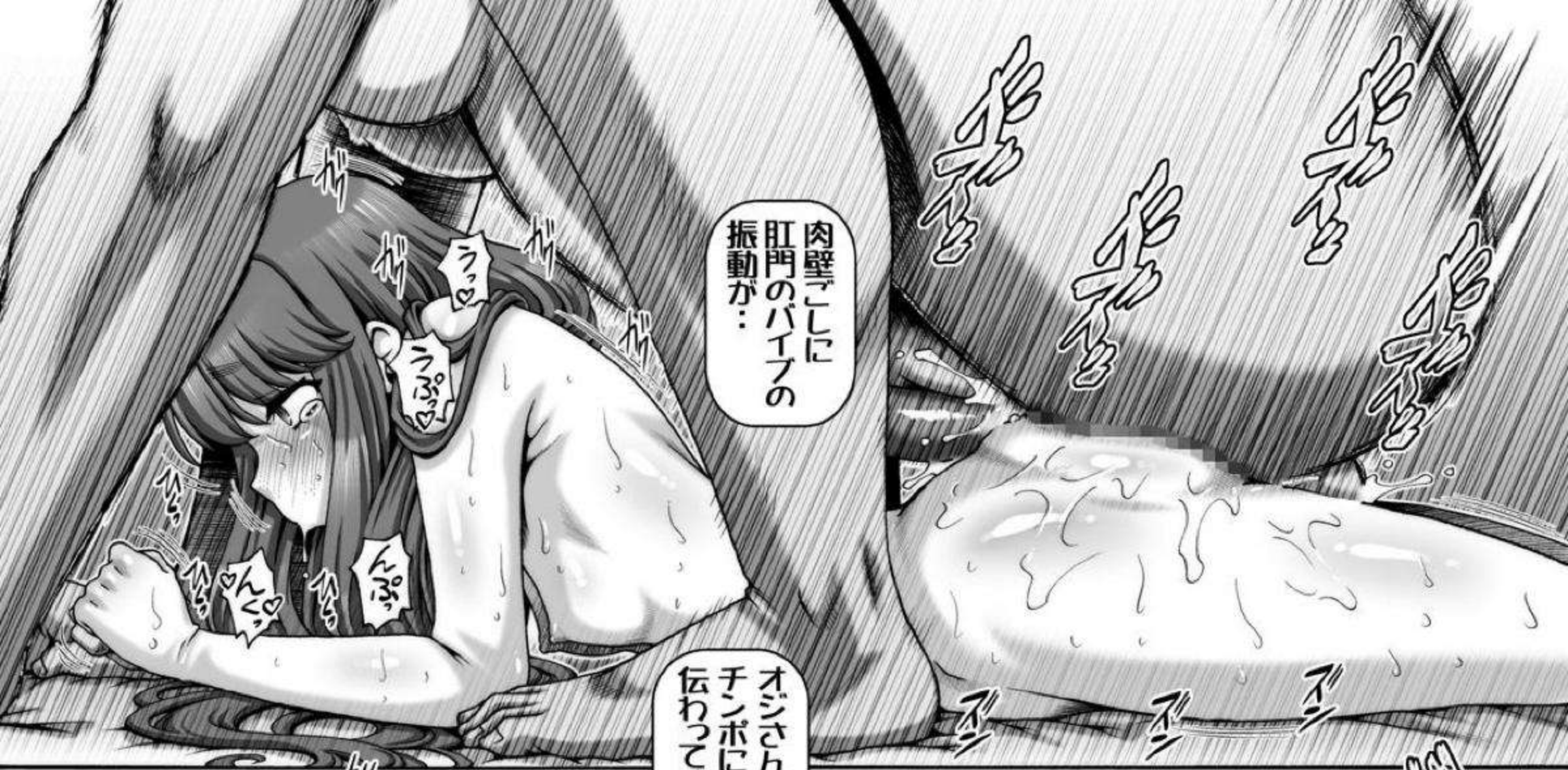
「よ良かった
かい…
リンちゃん」

「まあ…
辞める理由が
無いから…ね」

「大分太い物も
入る様になって
きたね」

「続いで
いる」

「リンちゃんは
順応するの
早いなあ」



肉壁「しに」
肛門のバイブの
振動が：

オジさんの
チンポにも
伝わってきた...



ああ...
これはたまん
ないい...

気色良すぎて
腰が勝手に
動いちやうよお

ホントに
サイコオスシ



こんなに
動いているのに
一向に腰が
疲れないなんて

むしろ

一週間分の
仕事の疲れが
無くなっていく
みたいだあ



たふふ..

こんな素晴らしい
穴を持った
リンちゃんを
産んでくれた..

親御さんに
大感謝しない
とね



そろそろ
玩具にも飽きて
きた事だろう..



本気で逝かせて
あげるねッ



今度は「の
本物で..



肛門をぶッ



お・お・お・ッ

「こ・こ・こちも
な・な・なともあ・あ
か・か・かびい」

なんて眼
なんだ
リンちゃんは

入れる穴
全てが
完璧じゃ
ないかあ

まさか
君はッ

ボク
の
為
の
ッ

生オナホ
だよあ

け
れ
き

れ
ろ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ



出すしかない！

誰か 入れても

あー

いい?

も・もっ だめだッ

穴: ここんな

うっせー

うっせー

うっせー

あー

うっせー

びしょ

びしょ

うっせー

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

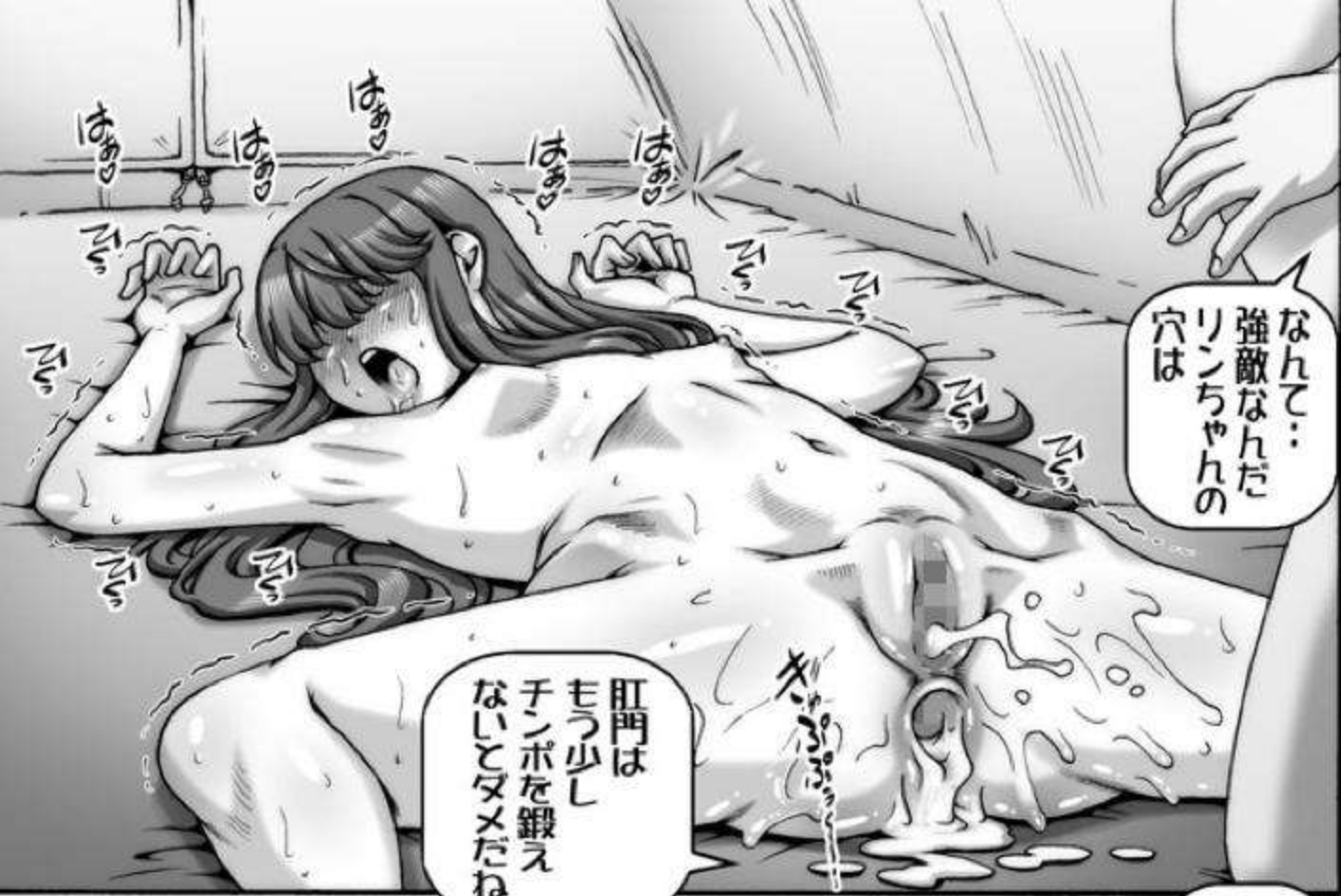
びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



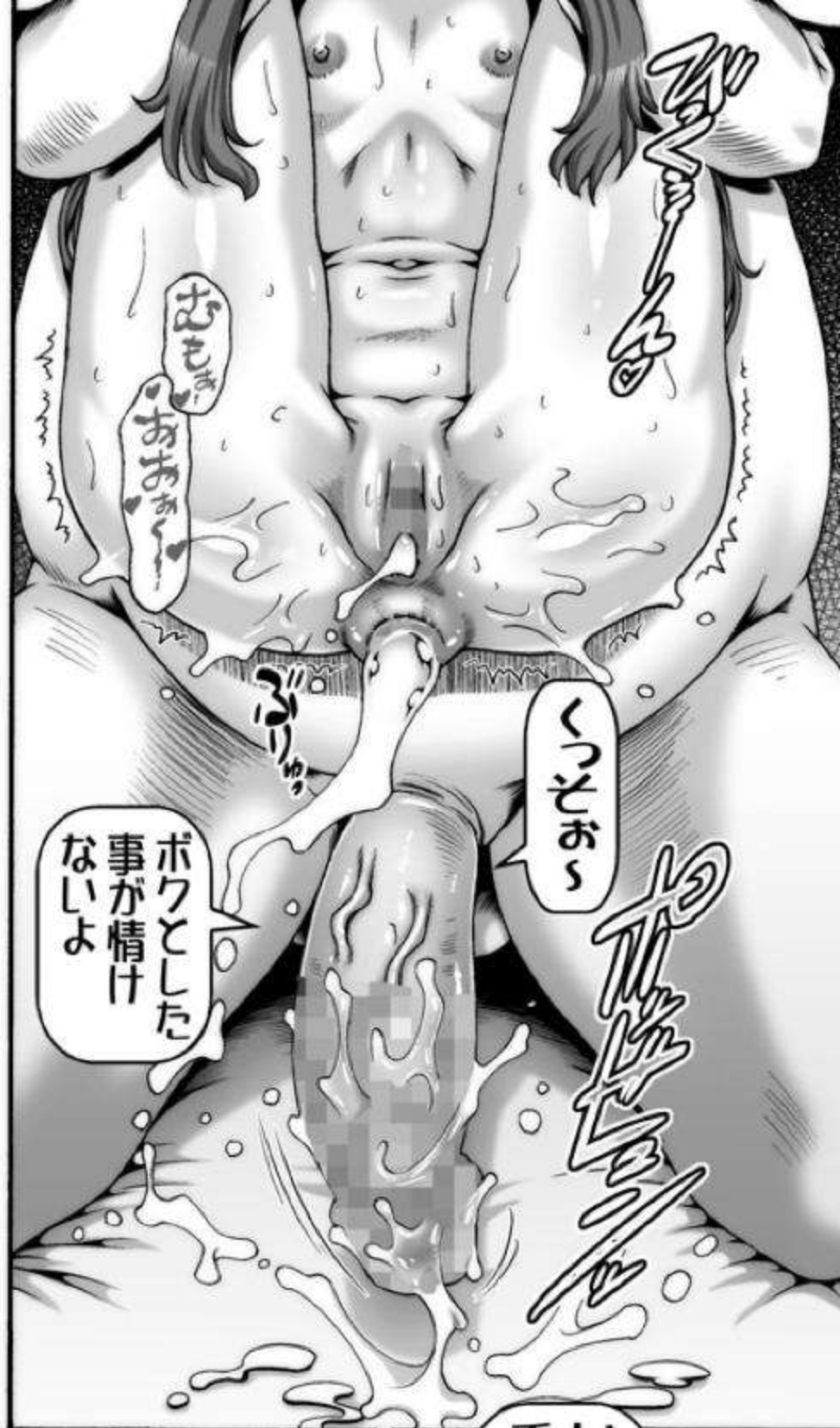
なんて：
強敵なんだ
リンちゃん
の穴は

肛門は
もう少し
チンポを鍛え
ないとダメだね



…と
言う
訳で…

早速
練習
練習



ボクとした
事が情け
ないよ

くじやあ



いっばい
チンポ鍛えて

リンちゃんの
認めてもらう
チンポに成長
するからね

期待して
ね♡

リンちゃん♡

けいあま♡

子供は見るな



EMPIRE HARD CORE 2021 SPRING

サークル 六本堂

著者 TYPE.90

発行日 2021・05・04

印刷 有)ねこのしっぽ

連絡先

type.90746160@gmail.com

本誌は成人男性専用同人誌です。 未成年者の購読は厳禁です。